

事務事業	15052	ブックスタート事業	担当課	社会教育課	担当係	町民図書館
------	-------	-----------	-----	-------	-----	-------

計後 画期 体計 系画	施策	07	子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できるまちをつくる	予算 科目 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	250	子どもの健全育成を推進する		款	10	教育費
					項	5	社会教育費
					目	6	町民図書館費

法令根拠条例等		個別計画
---------	--	------

実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	H14 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～ 年度
------	---------------------------------	---	------------	------------------------------------	--------

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
健康課が実施している『10ヶ月赤ちゃん相談日』に参加される親子に対して、図書館ボランティアの協力によるおはなし会を行い、絵本1冊と子育てに関する情報チラシ等を配布する。(平成22年度は事業名を「ブックスタート」から「はじめてのえほん」に変え、本を配布するという形ではなく、図書館と連携して検診待ち時間に図書カードの登録をしてもらい、本を貸し出すという方向で行った。平成23年度からは再び「ブックスタート」という形で実施。)		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		
<事務> 配布絵本数の予算計上、注文、契約、支払、絵本数の在庫管理、配布物準備 <実施日当日> 会場準備、受付、事業説明、絵本配布、図書カード登録推進、検診待ち時間に行うおはなし会についてボランティア団体との調整		
		消耗品費 321 千円 千円 千円 千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入)
事務 ・配布絵本数の予算計上、注文、契約、支払、絵本数の在庫管理、配布物準備 実施日当日 ・会場準備、受付、事業説明、絵本配布、図書カード登録推進 ・検診待ち時間におはなし会実施(ボランティア団体による)
② 対象(誰、何を対象にしているのか)
10ヶ月の子どもとその親
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)
絵本を仲介にし、親子のふれあいを深める。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値		
名称	単位	29年度	30年度	31年度
ア 本を受け取った人数	人	451	452	450 (見込)
イ 図書カードの登録者数(0歳児)	人	29	80	90 (見込)
ウ				(見込)
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値		
名称	単位	29年度	30年度	31年度
ア 10ヶ月赤ちゃん相談対象者数	人	550	480	465 (見込)
イ				(見込)
ウ				(見込)
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値		
名称	単位	29年度	30年度	31年度
ア 本を受け取った10ヶ月検診対象者の割合	%	目標	100.0	100.0
		実績	82.0	94.2
イ 図書カード登録した10ヶ月検診対象者の割合	%	目標	20.0	20.0
		実績	5.3	16.7
ウ		目標		
		実績		
エ		目標		
		実績		
オ		目標		
		実績		

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	319	327	321	349		
		合計(A)	319	327	321	349	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	1,404	1,749	1,465	1,545		
	トータルコスト(A)+(B)	1,723	2,076	1,786	1,894	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
赤ちゃんのこぼれと心を育むためには、抱っこぬくもりの中でやさしく語りかける時間が大切だといわれており、そのかけがえのないひとときに「絵本」を通してこぼれと心を通わすことを応援するため、健康課・社会教育課(町民図書館)・子育て支援課の3課で協議を行い、平成14年4月より開始。	本の配布というばらまき形の支援が疑問視されていたこと、その後の図書館の利用等につながっていないこともあり、平成22年度は絵本は貸出という形で行った。しかし、「存続すべきだ」という町長の意向により、平成23年度は再び配布という形で実施している。平成28年度からは主管課が子育て支援課から社会教育課(町民図書館)へ変更。	本がもらえるのは嬉しい。ぜひ子どもに読んであげたい。手あそびを教えてもらって助かる。(対象者)

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	保護者が絵本を介して子どもとのふれあいを深めることは、子どもの心身が健やかに育つことにつながる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	乳幼児期からの本の読み聞かせは、子どもが心豊かに育つためには必要である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	10カ月健診にきた子ども全員に絵本を配布している。集団健診に参加できなかった子どもには後日健康課を訪ねた際に図書館に寄ってもらい絵本配布している。これ以上の成果向上余地はない。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	後追い調査も行っておらず、親子のふれあいには様々な要因が絡むため成果は数値化出来るものではないが、一助になっていると思われる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	現在も絵本購入等の必要最低限の予算のみ。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

<ul style="list-style-type: none"> ・関係3課の変わらぬ協力体制を維持することが必須であると思われる。今後も図書館のみではなく3課ともに「主管課ではないが自課も担当である」という認識を持っていくべき。 ・あかちゃん絵本を配布しているが、絵本を興味深く見る赤ちゃんや楽しそうに子どもと話しながら絵本を選ぶ保護者の姿を見ると、改めて絵本は親子の心をつなぐふれあいの時間のツールとして有効なものと思われる。 ・健診待ち時間にボランティアにより実施されるおはなし会によって、待ち時間の長さがあまり気にならないようになってきている。また内容も赤ちゃん絵本等を読むだけでなく、様々な親子遊びの紹介をしているため、参加者はそれを楽しげに行っている。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
---	------------------------------------